

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 5 年 4 月 3 日(2023.4.3)

【公開番号】特開 2022-1782(P2022-1782A)  
 【公開日】令和 4 年 1 月 6 日(2022.1.6)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-002  
 【出願番号】特願 2020-107227(P2020-107227)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 D 65/095(2006.01)**

10

**F 1 6 D 55/22(2006.01)**

【F I】

F 1 6 D 65/095 C

F 1 6 D 55/22 C

F 1 6 D 65/095 H

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 24 日(2023.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれは、図 7 ~ 図 9 に示すように、裏板 1 6 a の周方向一方側部に備えられた挿通孔 1 7 a の内側に、インナボディ 6 a 及びアウトボディ 7 a に備えられたピン 1 2 a を挿通し、かつ、裏板 1 6 a の周方向他方側部に備えられた耳部 1 8 a を、インナボディ 6 a 及びアウトボディ 7 a に備えられたガイド凹溝 1 3 a に対して係合させることで、キャリパ 2 a に対し軸方向に移動可能に支持されている。インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a をキャリパ 2 a に支持した状態で、裏板 1 6 a の周方向一方側の側面に備えられた突き当て面 1 9 a は、回入側連結部 8 a に備えられた被突き当て面 1 1 a に対して周方向に対向する。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0109

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0109】

本例では、シート状の接着剤 3 8 c をシム板 3 4 の裏面に貼着する際に、位置決め部 4 7 に備えられた係合孔 4 2 a に対して、裏板 1 6 a に備えられた突起部 3 6 を挿通することで、裏板 1 6 a に対するシート状の接着剤 3 8 c ( 接着面 3 9 ) の位置決めを図っている。具体的には、係合孔 4 2 a には、径方向外側部の周方向一方側の端部に配置された突起部 3 6 を挿通している。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

インナパッド 3 c 及びアウトパッド 4 c のそれぞれは、キャリパ 2 b に組み込む以前の

50

状態で、シム板の裏面のうち、回入側の端部に配置されたピストン 4 6 a の先端部が接触する部分に、シート状の接着剤を貼着してなる接着面を備えている。これに対し、シム板の裏面のうちで、接着面から外れた、2つのピストン 4 6 b、4 6 c のそれぞれの先端部が接触する部分を含む部分には、シム板の裏面により構成される非接着面を備えている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

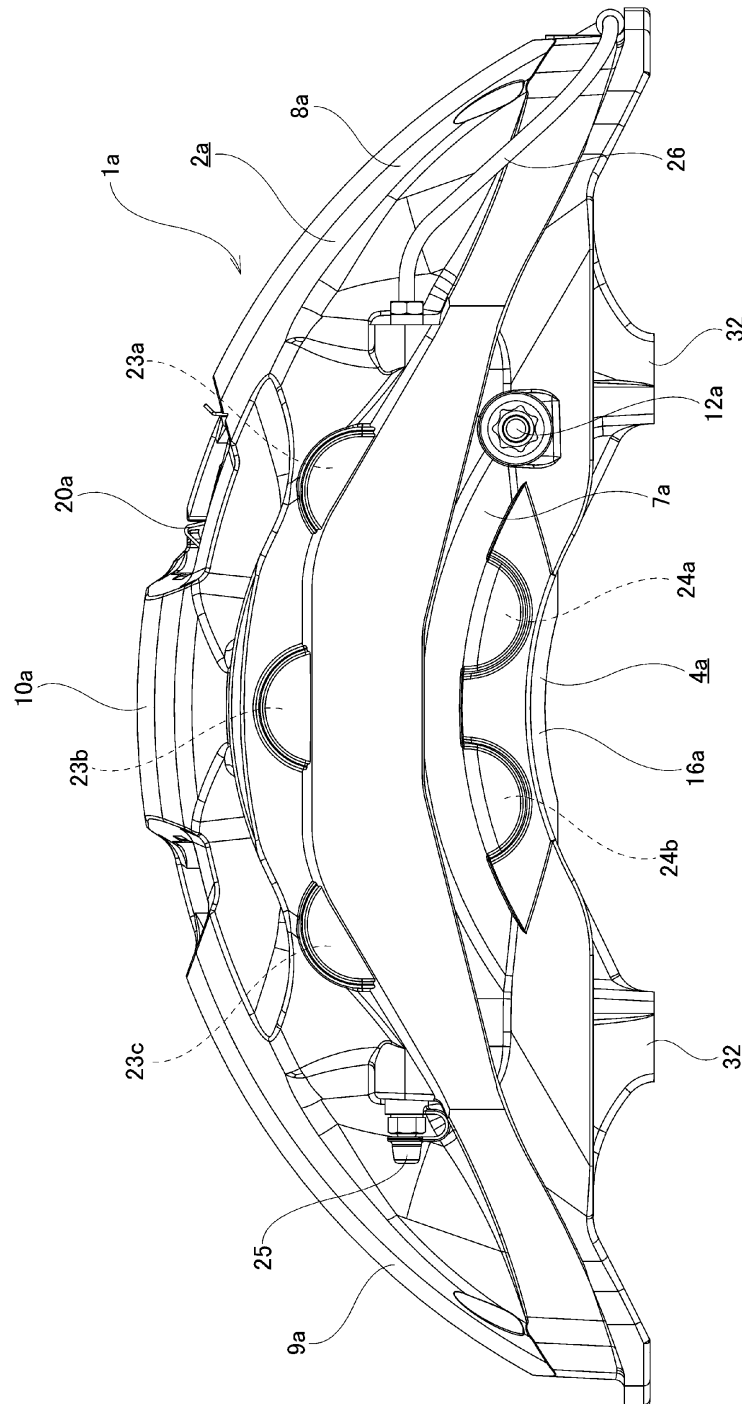
【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

10

周 方 向 一 方 側 ( 回 入 側 )



20

30

40

周 方 向 他 方 側 ( 回 出 側 )

50

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 2 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 2 1 】

